

平成23年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	日米露有識者会議開催経費			担当部局庁	欧州局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度開始 ・平成24年度終了(予定)			担当課室	ロシア課			課長 岡野 正敬	
会計区分	一般会計			施策名	I-4 欧州地域外交				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一号二			関係する計画、通知等	「平和条約問題に関する日本国総理大臣及びロシア連邦大統領の声明」(平成12年9月)、「日露行動計画」(平成15年1月)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日米露三か国の有識者によるアジア太平洋地域の安全保障を中心テーマとする有識者会議を開催するための費用を要求するもの。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	日米露の有識者が、アジア太平洋地域の安全保障を中心テーマとして、この地域の脅威をどのように認識しているのか、また将来のアジア太平洋地域の安全保障はどうあるべきかといった視点から議論を積み重ね、最終的に、本有識者会合として、日米露三国政府に対する政策提言を提出する。								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		補正予算	-	-	-				
		繰越し等	-	-	-				
		計	-	-	8				
		執行額	-	13	4				
	執行率(%)	-	-	52%					
	成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
成果実績			人		31	24			
達成度			%		-	77			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	1会計年度中、基本的に1回会議を開催するペースで進める。			活動実績 (当初見込み)	回	1	1	-	
						(1)	(1)		
単位当たりコスト	400万円/1回			算出根拠	単位当たりコスト=1回/執行額(400万円)				
平成23年度 (単位:千円) 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	会議開催諸経費	5,838	3,647						
	有識者出張費	3,500	4,722						
計	9,338	8,369							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	平成22年度については、実施団体の施設を会場として使用することができた等の事情により、必要経費の節減が可能となった結果、不用率が大きくなった。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	証拠書等によって契約先からの再委託がないことを確認している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>これまで、会議開催国等の事情を勘案し、日米露各極それぞれの費用負担のあり方が合理的なものとなるよう検討・調整を行い、必要経費削減に努めてきている。今後も、会議開催時の種々の事情に応じ、経費削減の可能性について各極と検討・調整を行っていく。同時に、例えば、旅費が必要となる場合には割引航空券を利用する等、引き続き可能な節減を続けていく。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		事業見直し、単価見直し等による減	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減(事業見直し、単価見直し等による減)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

外務省  
4百万円



【競争性のない随意契約】  
A. 戦略国際問題研究所(CSIS)  
  
3百万円  
(事務局業務等)

【一般競争】  
B. (株)ブルーシップトラベル  
1百万円  
(宿泊, 車等)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の金  
 額が支出されて  
 いる者について  
 記載する。費目  
 と使途の双方で  
 実情が分かる  
 ように記載)

A.戦略国際問題研究所(CSIS)			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
その他	諸経費	1			
人件費	研究員2名	2			
計		3	計		0
B.(株)ブルーシップトラベル			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
その他	宿泊, 車, 謝礼等	1			
計		1	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

# 支出先上位10者リスト

## A.戦略国際問題研究所(CSIS)

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	戦略国際問題研究所(CSIS)	事務局等業務	3	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

## B.(株)ブルーシップトラベル

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額	入札者数	落札率
1	(株)ブルーシップトラベル	会議開催業務(宿舍の手配等)	1	6	58
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					